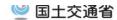
第7章 国庫補助事業の活用

(1) 考え方

地域公共交通の充実に向けては、本市の各種支援制度に加え、国庫補助事業(図7-1) を有効活用するなど、関係者で連携して取組を進めていきます。

地域公共交通リ・デザイン関係予算一覧 (令和5年度補正予算・令和6年度予算)



地域公共交通確保維持改善事業(令和5年度補正:279億円 令和6年度:208億円)

- 1. 地域公共交通のリ・デザインの加速化
- ◆ 共創・MaaS実証プロジェクト
- ·AIオンデマンド·MaaS等「デジタル」や多様な関係者(医療・介 護、教育・スポーツ、農業・商業、環境等)の「共創」による交通 プロジェクトを各地の足の現状3類型 (A·B·C) に応じて支援 ·モビリティ「人材」(プロデューサー・コーディネーター、
- DX人材など) の育成支援

- 交通空
- C 大都市など
- ●自動運転社会実装推進事業

2027年度100か所以上の目標に向けて 自動運転の社会実装に係る取組を支援

● ローカル鉄道の再構築支援

ローカル鉄道に係る公共交通再構築に向けた協議の場の 設置、調査・実証事業を支援



2. バス・タクシー等公共交通事業者の人手不足対策

- 旅客運送事業者の人材確保
- ・2種免許取得、採用活動等、人材確保のために行う取組を支援・女性・パートタイム運転者拡大のための勤務形態柔軟化・設備投資 促進等「タクシー不足に対応する緊急措置」の推進
- 交通DX・GXによる省人化・経営改善支援

地域交通事業者によるDX・GX等による利便性向上や人材確保に資する取組に対して支援 ・キャッシュレス・配車アプリ、運行管理システム、EVバス・タクシー導入等

3. 既存の地域交通に対する支援

- ・地域公共交通計画に基づく地域公共交通の運行等の支援強化
- ・賃上げ等のための運賃改定を実施する事業者に対する支援強化
- 公共交通におけるバリアフリー整備
- ・車両の更新等地域鉄道における安全対策の推進

地域鉄道の安全対策 (令和5年度補正:66億円の内数 令和6年度:45億円の内数)

・地域鉄道における安全性向上に資する設備整備を支援

訪日外国人受入環境整備(交通)(令和5年度補正:244億円の内数 令和6年度:14億円の内数)

公共交通機関におけるストレスフリーで快適に旅行できる環境を整備するため、多言語対応の強化、 キャッシュレス決済の普及、バリアフリー化の推進等に関する個別の取組に対して支援

- ・車両の大型化や荷物スペースの設置、観光車両の導入・改良
- ・多言語対応のデジタルサイネージ、デジタルを活用した混雑状況の可視化







社会資本整備総合交付金 (地域公共交通関連)

(令和5年度補正:542億円の内数 令和6年度:5,065億円の内数)

・バス停留所や鉄道施設等の施設・設備に対する支援

(令和6年度:6億円)

・鉄道・バスに係るEV車両等の先進的な車両導入・改良を支援

財政投融資 (令和6年度:102億円)

・バス・タクシー・鉄道等のDX・GX投資に対する出融資

図7-1 リ・デザイン関係予算一覧

資料) 国土交通省資料

(2)活用の方向性

生活交通バス路線維持制度により運行を維持している生活交通バス路線(図7-2)や、 新たな地域交通サポート事業(仮称)により導入した新たな地域公共交通(図7-3)の うち、国の指定する交通不便地域の解消に資する路線であり、かつ、地域や事業者等の運 営努力だけでは維持が難しい路線については、必要に応じて、地域公共交通確保維持改善 事業の「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金」を活用し運行を維持・確保します。

また、民間企業による交通DX・GX・共創の取組(自動運転、MaaS等)や交通事業者 による公共交通のバリアフリー整備等においても国庫補助事業を活用し、取組を推進しま す。

横浜市生活交通バス路線

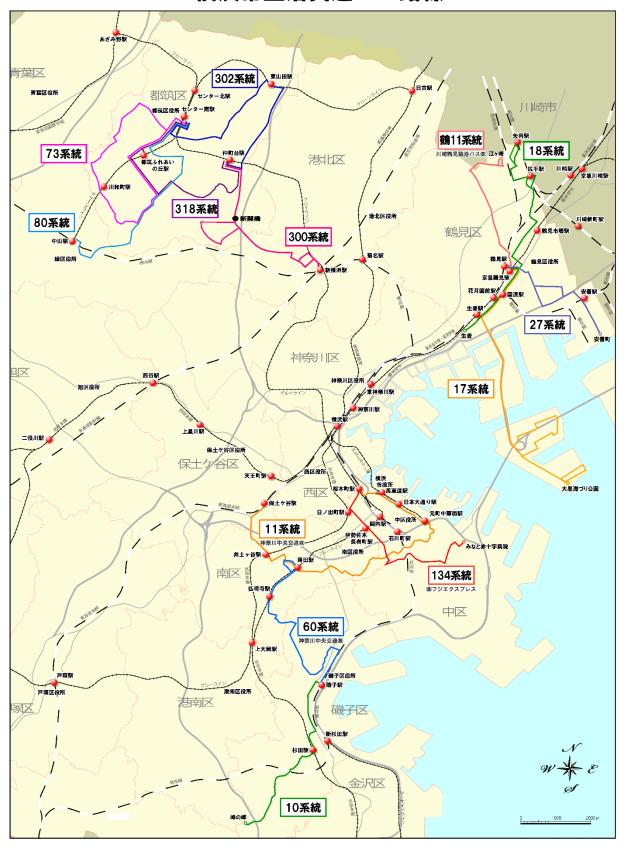


図7-2 生活交通バス路線図

資料) 横浜市作成

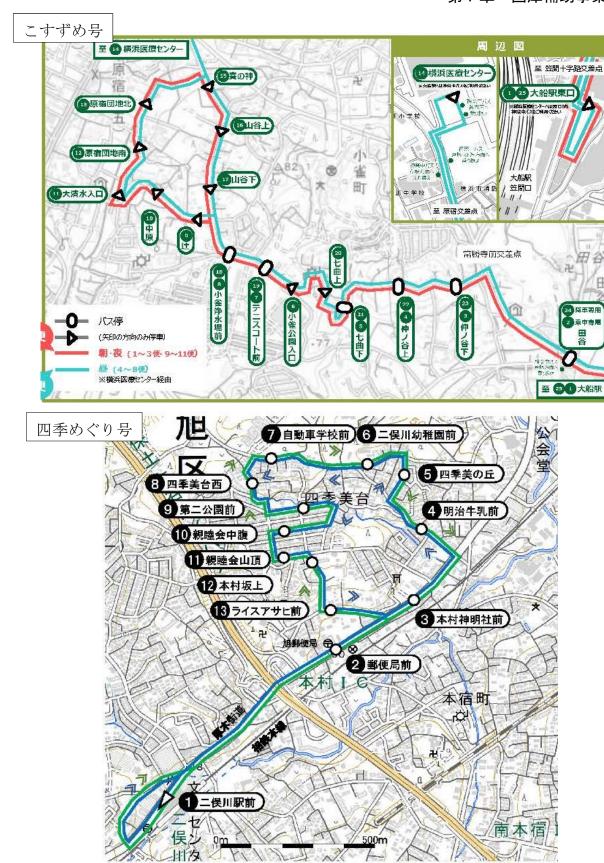


図7-3 新たな地域公共交通 (乗合タクシー) の例

資料) 横浜市作成